

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立 八郷小 学校

校長 丹羽 喜美子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

八郷小学校は、四日市市教育委員会からコミュニティスクールの指定を受け、学校づくりビジョンの「めざす子どもの姿」に揚げていく「かしこい子、あたたかい子、たくましい子」の育成に向けて、地域・家庭・学校が互いに連携を密にし、子どもたちの教育を協働して進めていく「地域に根ざし、地域とともに歩む学校」をめざしています。また、上記の取組を進めることで、地域の教育力を学校教育に生かすとともに、「八郷地区のまちづくり」「地域のみなさんの生きがいつくり」にも貢献していきたいと考えています。



2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①学校運営協議会

本年度もコロナ禍であったことから年6回の学校運営協議会の開催となりました。「学校づくりビジョン」やその進捗状況について学校から報告を行いました。



運営委員の方々には普段の授業の参観だけでなく、運動会や6年生を送る会などの学校行事の参観で、子どもたちの様子を見ていただきました。そして、子どもたちの実態から、本校の課題でもある学力向上やいじめの問題についてもテーマとして採り上げ、どんな支援ができるか協議を進めていただきました。



また、教育講演会や給食試食会に参加していただき、学校状況をご理解いただくとともに、「通学路の安全（交通安全、防犯、防災）」や「学校評価」などについても話し合い、年度末には、学校関係者評価を行い、今年度の成果と課題をまとめました。

②学校資料室委員会の取組

学校資料室委員会を組織し、定期的に学校資料室の整備を行っています。また、子どもたちが伝統的な行事を意識できるように、毎月季節に合わせた展示もしていただいています。本校の児童だけでなく校区内の八郷中央幼稚園児が見学に来るなど、地域に根差した取組をして



いただいています。資料室は、子どもたちの学習の場だけではなく、保護者や地域の方々も見学できるようにしています。

③ボランティアが活躍する教育活動

今年度もボランティアとしてたくさんの地域の方々に、学習支援、学校環境整備、読書活動、安全パトロールなど多くの場面で支援をしていただきました。

学習支援では、自分たちの地区の防災設備や危険個所などについて調査する4年生の防災探検隊の活動が5年目になりました。また、一昨年度から家庭科学習支援でミシンの操作を教えていただいたり、2年生の算数学習支援として九九を聞いてもらったりしました。さらに今年度からは、5年生の図工科での糸のこぎりを使用する支援にもきていただきました。

この他にも、2年生のさつまいも作り、4年生の朝明川水生生物調査、5年生の米づくり、クラブ活動の指導や支援、読み聞かせ・図書コーナーの整備作業など、学校の教育活動にご協力いただいています。



④子どもを見守り、育てる活動

子どもを見守り、育てる地域活動として八郷安全部会があります。福寿会（八郷地区老人会）の方々を中心に、「できる人が、できるときに、無理なく」をモットーに、八郷地区の全戸に見守り隊を募っています。パトロールをしていただくことで、児童の交通安全はもとより犯罪の抑止にもなっています。また、子どもたちに優しく声をかけてくださり、子どもたちも元気に挨拶をするなど、子どもの健全な育成の支援をしていただいています。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールの取組みを始めて今年度で17年目となり、学校と地域が協働する取組は定着してきています。『学校の応援団』として子どもたちや先生たちの役に立ちたい。そして、地域もやってよかったと思えて、保護者の安心安全につながってほしい。」という委員の方々の思いで取り組んでいただいています。地域全体で学校を子どもたちを温かく見守っていただいています。

保護者アンケート「コミュニティスクールとして学校・家庭・地域が協力・連携して、子どもの教育や通学の安全に取り組んでいる」という設問に対して、94%が肯定的な回答をしています。家庭科のミシン縫いや図工科の電動糸のこぎりを使うときには見守りが増え、より安全に学習できました。2年生算数科かけ算九九の暗唱テストをみてもらうことができ、保護者や教員とは違う立場の人から「うまくできたね。」「それでいいよ。」「がんばったね。」などの声かけをいただくことで、子どもたちの自己肯定感も高められ、意欲的に学習に取り組むことができ、そのことで基礎学力の向上につながったと考えています。

またコロナ禍にあっても、クラブ活動支援や4年生の防災探検隊や朝明川水生生物調査の取組なども行っていただきました。このような活動が、保護者アンケート「学校は地域の文化・自然・人材を学習に取り入れ様々な体験活動を通じた授業に努めている」という設問の肯定的回答が、昨年度の94%から97%に増加していることにつながっていると思われまます。

児童アンケート「学校生活は楽しいですか」という設問では92%の児童が肯定的な回答をし、保護者アンケートにおいても「楽しく学校に通っている」で95%が肯定的な回答をしています。保護者・地域の皆さんが「学校の応援団」として協働して教育活動にあたっていただいている成果といえるでしょう。

教職員にとっても、学習支援や学校環境整備支援をいただくことができたので、ゆとりを生み出すことができました。

3 今後に向けて

本校が17年間積み上げてきたコミュニティスクールの取組の成果として、児童の安心安全の向上はもちろん、授業の支援においても地域の方々の協力体制が定着しています。家庭科のミシン学習支援や2年生の算数学習（九九）支援に加えて5年生の図工科支援、図書コーナーの整備などを行っていただいています。これらは、学校の提案のもと、子どもたちや学校の状況に合わせて支援していただきました。このように、子どもたちの現状に合わせて、より充実した教育活動をめざし、「地域とともに歩む学校づくり」をさらに進めていきたいと思っています。